

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	079	事業名	予防接種事業		担当部課	福祉部健康推進課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち			会計区分	一般会計		
	まちづくり行程表・フラッグ	—			予算区分(款—項—目)			
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			4-1-2 予防費			
	法定受託事務の有無	—						
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 予防接種法						
事業開始の背景、経緯等	予防接種法に基づき、昭和34年から事業を開始。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 予防接種法に基づき感染症を予防し、住民の健康保持のため予防接種事業を実施する。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 予防接種機会の安定的な確保と一定の接種率の確保により市民全体の免疫水準を維持する。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 予防接種事業	拡充	④				
	②			⑤				
	③			⑥				
コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	予算	219,311	193,899	218,643	218,711	238,032
			決算	194,122	198,833	207,979	216,079	
	人件費(B)	千円	決算	—	19,534	28,643	23,858	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	—	218,367	236,622	239,937		
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A MRワクチン接種率	%	目標	95以上	95以上	95以上	95以上	96以上
			実績	95.1	96.6	98.2	96.3	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 国が示す目標値95%以上を本市は達成しているため、31年度は96%以上を成果指標とした。 B C								
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 予防接種法に基づく定期接種は他市町も同様に実施している。						
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は達成できている。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 接種案内、未接種者への勧奨等により、目標は達成できている。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 予防接種法改正に対する適正かつ円滑な事業運営を行うことが課題である。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 接種率を維持するべく保健活動の継続。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 接種率の目標達成が継続する。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・受益者負担の見直しを検討してください。
------	-------------------------	----------------------

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	予防接種事業		担当部課	福祉部健康推進課	決算書ページ	—
事務事業名	①	予防接種事業	予算区分	4-1-2 予防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和34年	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 予防接種法に基づき、市民に予防接種を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 予防接種機会の安定的な確保と一定の接種率の確保により市民全体の免疫水準を維持する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	219,311 194,122	193,899 198,833	218,643 207,979	218,711 216,079	238,032
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)	予防接種委託		198,138 千円				
(2)	予防接種事業看護師等賃金		4,405 千円				
(3)	任意高齢者肺炎球菌接種費助成事業委託		4,184 千円				

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
MRワクチン接種率	%	見込 実績	95以上 95.1	95以上 96.6	95以上 98.2	95以上 96.3	96以上
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
BCGIは保健センターで集団接種だが、それ以外の予防接種については、かかりつけ医による個別接種で実施している。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

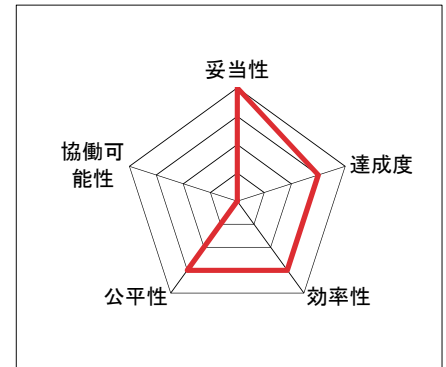
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 国が高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の経過措置を平成31年度から5年間延長したことで接種機会が確保できたため、任意高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成事業を平成30年度で終了する。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
218,711 千円 238,032 千円 19,321 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 現状維持
・前年度【コメント】
今後も市民全体の免疫水準を維持するために、接種機会の安定的な確保と一定の接種率の確保ができるよう事業を遂行していく。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
平成30年度で任意高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成事業が終了するため、未接種者全員へ個別通知により接種勧奨を実施した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込 実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
事業の性質上、協働、市民参加する事業には該当しないため。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
任意高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成事業の対象者に接種勧奨を実施したため、ワクチン接種費用の助成者数が増加した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
接種機会の安定的な確保と事業の普及・啓発に取り組み、一定の接種率の確保を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充